

国立がん研究センターにおけるがん検診モダリティーの有効性評価に関する研究

(研究代表者：国立がん研究センター中央病院 検診センター 小林 望)

研究の目的：

本研究は、国立がん研究センター中央病院検診センター（旧、国立がん研究センターがん予防・検診研究センター）で実施している各種検診検査法（上下部消化管内視鏡、大腸 CT、胸部 CT、喀痰細胞診、マンモグラフィ、乳房超音波、FDG-PET、腹部超音波検査、腫瘍マーカー・血液検査）の有効性を評価することを目的としています。

研究の意義：

がん検診の重要性が高まっている現状において、がん検診モダリティーの有効性に関する科学的な評価は社会的な重要課題ですが、その評価は未だ十分とは言えません。そこで、実際に使用されているがん検診モダリティーの有効性評価を行うべく、本研究の立案に至りました。本研究により得られる結果は、より有効性の高い検診の確立を進める上で、非常に大きな意義を持つと考えています。

方法：

本研究では、国立がん研究センター中央病院検診センター（旧、国立がん研究センターがん予防・検診研究センター）において、2004年開設時よりがん検診を受けている全ての受診者さん（研究非同意者を除く）を対象として、各検査法（上下部消化管内視鏡、大腸 CT、胸部 CT、喀痰細胞診、マンモグラフィ、乳房超音波、FDG-PET、腹部超音波検査、腫瘍マーカー・血液検査）による診断結果と二次精検結果および治療結果とを照合することにより、各検査法が対象とするがんに対する診断精度や発見率を明らかにします。さらに、受診者さんのフォローアップ調査結果をもとに長期経過データを解析することで、各検査によるがん死亡抑制効果やがん罹患抑制効果も検討します。

個人情報保護に関する配慮：

閲覧する診療録には個人情報が含まれますが、受診者さん個人が特定されないやり方で情報を収集します。対象となる受診者さんの識別は本研究専用で別途割り振られた研究番号を使って管理し、個人情報が院外に出ることはありません。受診者さん等からのご希望があれば、その方の診療録は研究に利用しないようにしますので、いつでも下記までご連絡ください。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

国立がん研究センター中央病院 検診センター 小林 望

FAX 03-3542-3815 / TEL 03-3542-2511